



園だより

令和3年1月発行
こども園 園長 松岡 貴子

124年ぶりの出来事。ご存知ですか？

現代の日本では、国立天文台の観測によって、「太陽黄経が315度になった瞬間に属する日」を『立春』としています。2021年の立春の瞬間は、2月3日23時59分。あと1分で2月4日ですが、瞬間から設定されますので、明治30年（1897）ぶりに2月3日になるという事です。国立天文台ホームページをのぞいてみると、あと100年ほどは3日か4日になると記載されていました。今年立春がいつもと違っていただけで、太陽の動きに基づいた「こよみ」を調べるきっかけとなりました。いろいろな事を当たり前と流してしまわず、

『どうして違うのかな』と子ども達と共に調べてみてはいかがでしょうか？発見する楽しさを味わうことで次の不思議に出会えるでしょう。



1歳児制作「おにのおめん」

★2021年がスタートしました。

今年は自粛モードの中でしたが、皆様はどのような2021年を迎えられたでしょうか。感染拡大を予防するために、一人一人が自覚をもって取り組んでいるマスク着用ですが、表情が読み取りにくく相手に伝える手段が求められます。声のトーンを考えたり、身振り手振りも増えてくるのではないのでしょうか。これまで、表情から気持ちを読み取ったり、話の内容を推測したり、話の間等工夫することで、コミュニケーションをとる努力されてきたと思います。新しい年は先ず、マスクを外し相手の表情を見ながら会話できる日常を取り戻したいですね。



干支絵馬：0歳



福だるま：2歳



干支カレンダー：1歳



手作り凧：2歳

マスク生活の中、特に表情をみて会話を楽しむ0歳児さんは、私たち大人をどう感じているのでしょうか。マスクを外してする食事でも介助が必要なので、一緒に食べる機会がありません。それでも、関わってくれる人と認識して、近寄ってきては笑顔を返してくれます。そこから考えると、顔全体が見えているかいないかは関係がないことに気づかされます。

職員が子ども達と関わる時、表情が見えない分、より多くスキンシップを取ったり、声かけの抑揚を工夫したりと、自然に対応していたこととなります。

人は「思いを伝えたい。自分を分かってもらいたい」と願い触れ合い関わりを深めていく【コミュニケーション力】ことの大切に行っていることを実感しています。また、ことわざに口で話すのと同じくらい気持ちを表現する意味で使われる「目は口ほどにものを言う」があります。マスク生活が続く中、人とのつながりを大切に、目で話せる・関われる力を磨いてまいりましょう。

1月は昔ながらの遊びを年齢に合わせて体験しました。27日の伝承遊び会では、先生方が遊び方を紹介していただく中、学園アドバイザーの中山先生にも鞠つきを披露していただきました。歌を口ずさみながらの鞠つきにみんな目をまるくし「すごーい上手」と拍手もおこっていました。遊びも風習も受け継いでいくことが、「文化をまもること」に繋がっていきます。ご家庭でも公園や広場でできる「紐独楽・羽根つき」等お父様・お母様の素敵一面を、子どもたちに披露されてみてください。

きつと、きっかけ作りやチャレンジ心を刺激してくれると思います。



こっち?そうそう!



そこそこ!いいね



いくよー



♪あんたがたどこさ

★2月20日発表会及びその他の行事について

1月、11都市宣言発令と共に、熊本県独自の「緊急事態宣言」が発令され解除目安の2月7日が近づいてまいりました。期間中県民一人一人が拡大防止を意識し過ごしていることで、罹患減少傾向も見られるようになってきました。しかし、解除と共に気を緩めてしまえば、再び自粛生活となることは避けることができないと思います。発令期間と共に解除された後の行動に「自覚と責任」を持つことが必須ではないでしょうか。頑張ってみましょう。

さて、先にお知らせしております「2月20日、発表会」について状況による変更の可能性をお伝えいたします。現在のところ「参観形式にて開催。及び1園児につき保護者1名参観協力」となっております。本来の発表会の趣旨としまして、【全園児の年齢による育ちを、全保護者で参観する】と考へ、これまで取り組んで参りました。しかし、昨年の発表前感染増加に伴い保護者協力のもと、「クラス交替での取り組み」となっていました。今年こそはと、杉並台幼稚園借用も進め計画して参りましたが、年明けからの増加を鑑み今回の形を決定周知させて頂きました。このまま宣言解除がされた場合は、計画通り取り組むことができるのではないかと予想されますが、解除延期等になった場合は、参観中止・園児のみ当日発表会となることも考えられます。今後の動きを把握しながら、最終決定となっていくことをご理解いただき、子ども達が日頃こども園にて取り組んできたことを、発表できる一番の形を決めてまいります。どうぞ開催できるよう日々の取り組みを再度見直し、ご協力いただきますようお願い致します。

なお、年長児保護者より両親参観できないかと要望を頂いておりますが、大切な子ども達・保護者・職員の命を守っていかねばならないことをどうぞご理解いただき、当初計画どおり参観は「園児1名につき保護者1名」対応とさせていただきます。

また、年度末までの行事につきましても、「感染拡大防止・命を守る」ことを一番に考え決定してまいりますので、変更等につきましてはご協力・ご理解の程よろしくお願い致します。